



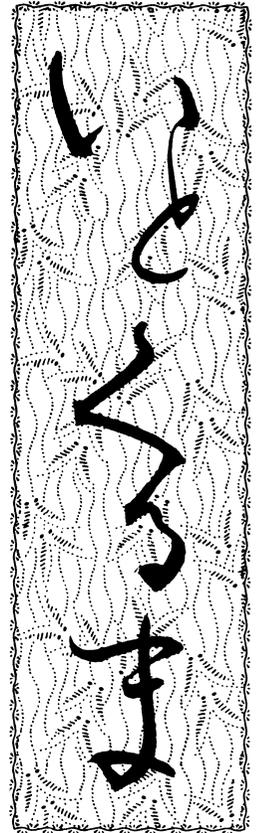
西側校舎と桜



職員玄関内側から



職員玄関前の庭



麗らかな陽差しの中、木々の芽吹きに春の訪れを感じる季節となりましたが、皆さま穏やかに過ごしたことが、皆さまでお喜び申し上げます。最近のテレビや新聞では、世界各国で起こる爆破テロや自然災害市井の人が巻き込まれる凶悪な事件・事故の報道が後を絶ちません。このような日々の中、北海道新幹線が青函トンネルをくぐり抜け北海道の地にやって来たことは、道民、特に函館近隣の人々にとって大変嬉しい話題のひとつではないでしょうか。一年前からのカウントダウンに始まり、開業当日には真つ青な函館の空に航空自衛隊のブルーインパルスが祝賀飛行をして花を添えてくれました。イベント会場では、母校食物健康科の生徒も地元食材を使って考案した創作どんぶり「ピビンバ DOON AN!」を販売して、「祝・北海道新幹線開業」を盛り上げるために



同窓会会長
平田 優子
S55年卒業 旧姓若山

第 39 号

《発行》
函館大妻高等学校
同 窓 会
「いとぐるま」編集部
〒040-0002
函館市柳町14番23号
電話 (0138) 52-1890
FAX (0138) 52-1892
印刷 (有)三和印刷

一役を買っていただきました。母校生徒の皆さんには、これからも様々な機会を活かして活躍の場を広げていってほしいと願っています。そして私達同窓生も、一生懸命がんばっている生徒の皆さんを温かく見守り、精一杯応援していきたいかなければならないと思っています。

さて、昨年七月の総会で議題として上がっていました、「現在、活動を休んでいる瀬棚支部の今後」と、「常任幹事・幹事の任期を含めた在り方」について、大変活発な議論が交わされました。まだはつきりとした結論は出ていませんが、同窓会に携わる先生方とも相談・協議を進めながら、母校創立百周年のお祝いの準備が始まるまでには良い結論が導き出せるよう努力していく所存でありますので同窓生の皆さまにもより一層のお力添えを賜りたくお願い申し上げます。

昨年、支部創設三十周年記念支部会を盛会のうちに終えられた東京支部に続き、今年は日高支部が五十周年、札幌支部が四十五周年の節目を迎えます。一人でも多くの同窓生の皆さまと各支部の節目をお祝いしてさらに交流が深まりますよう、また、北海道新幹線開業を機に、全国各地で暮らしている同窓生の皆さまが故郷函館へ来る機会が増え、今まで以上に有意義で楽しい同窓会活動に繋がっていくことを祈念しております。



“オール大妻”と“日本刺繍展示会”

学 校 長 池 田 延 己
同窓会名誉会長

九月中旬、私宛の一通の封書が届いた。裏を見ると、大妻多摩中学・高等学校の先生からで、生徒会による“オール大妻”を開催しませんか、というお誘いの内容だった。先生は、ホームページで函館大妻を調べ、校章も校訓もすべて同じなのに、どうして今まで交流がなかったのでしょうか、また、函館に大妻と名のつく高校があることを知らない先生がほとんどです、と述べられていた。

現在、「大妻」の名前を頭に冠している学校は、千代田区三番町の大学の側にある千代田本校と大妻中野・大妻多摩、そして埼玉県にある大妻嵐山の四校である。本校はこれまで、学校法人同士のお付き合いから、修学旅行時に、学内にある法人のみを表敬訪問してきた。「分校」と言うことで一歩退いていたのかも知れないが、今回のお誘いは、函館大妻九十二年の歴史の中に新たな一ページを書き加えることになる。

すべて中学校を併設している。しかし、大妻女子大学学祖の大妻コタカ先生の若かりし頃に、実業教育の教えを直接授けられた外山ハツ校長先生による教えが、その精神や技術も含めて、九十二年間連綿と受け継がれ、そして実践しているのは本校だけであり、大妻の原点が函館で息づいていることは誇つていいことだと思つている。さらに本校にとつて一気に四校も姉妹校ができ、毎年一回であれ交流を深めることのメリットは計り知れないものがある、と考へて申し出を受けることにした。

妻の歴史を知ってもらいたいとも思つている。来年三月開業予定の北海道新幹線よりも早く、“オール大妻”出発進行です。これから実り多い交流会にしていこうと考えている。

話が変わります。昨年の八月三日(月)に大妻女子大学の真家教授と中川准教授が来校された。真家先生は、大妻の歴史を展示している博物館の館長も兼ねておられる。中川先生は家政学部被服学科で教鞭をとつているのだが、日本刺繍の研究においても第一人者である。今回は真家先生が以前来校された時に目にした、外山ハツ校長先生の日本刺繍について中川先生に話したことから実現した。息を潜めてじつとみつけていた先生が突然発した言葉が、『すばらしい!』『この部分に大妻流が残つている』『本当にすばらしい!』だった。

は、大妻コタカ学長から直接教えを伝授されて完成したものであり、その技術の高さを証明するものであった。大学三年生で手藝部刺繍科の助教諭に抜擢されたのだから、さもありません、という感じだった。そして、ぜひ来年、大学の博物館で展示会を開催したい、貸し出してもらえないだろうか、という申し出を受けた。考える必要もなく即答した。『どうぞご利用ください』。作品群が大学に“里帰り”するのを拒む理由はない。外山ハツ校長先生も喜んでくれていて確信している。時期的なことはいから連絡あるものと思うが、夏頃には本校の日本刺繍のすべてが貸し出されて、廊下の壁が寂しくなっていると思ふのでご了承ください。

第一回目の交流会は十二月二十七日(日)、大妻嵐山中学・高等学校で開催された。学校行事の関係で千代田本校が欠席したため、残念ながら“オール大妻”とはならなかった。事前に予想したとおり、時間の制約から互いの学校を知り合うところで終わつたが、総勢五十名の交流会は和やかに進んだ。本校からは生徒会役員五名と顧問私の七人が参加した。内容等の詳細は次回に譲るとしても、二回目を本校で開催することで、函館大

大妻女子大学における大妻コタカ学長の作品の多くは、関東大震災や東京大空襲などの火災によって焼失している。外山ハツ校長先生の手になるこれらの作品



大妻女子大学博物館入り口



博物館での着物展

メモリアルピアノコンサートに思う

山内 セイ子

S 32年卒業

外山茂樹先生の追悼行事として平成二十一年から始まったコンサートは昨年九月の七回忌をひと区切りとし、フィナーレを迎えました。私は演奏家によるピアノの音色を脳裏に浮かぶさまざまな思い出と共に聴き入っております。

思えば平成二十年四月、外山ハツ記念館で開催された「タタミの会」に出席した折、茂樹先生が新学科への夢を結実させ、完成したばかりの食物健康科棟をご案内して下さいました。教師として古い校舎ばかりを歩いてきた私は、ピカピカの最新設備に目を見張り、大層感激し、「もう一度入学して勉強したいです」とつい口に出しましたら、先生は透かさず「入学生はもう定員になったんですよ」と真顔でおっしゃいました。先生の真直なお人柄に触れた思いでした。また、「退職後はどうしていますか」と聞かれ、「仕事はしておりません」と答えると、「それは勿体ないなあ」というお言葉。その時は社交辞令と聞き流していましたが、今は卒業生を大事になさる茂樹先生の有難いお言葉だったと受けとめております。



ピアノとチェロの美しいハーモニー

カフェテリアのピアノの上に飾られていた、外山ハツ・神田マスコ両先生の写真の前で一瞬足が止まり、思わず「風光る新校舎にも 師の遺影」と詠んでいました。このピアノこそ平成十九年、旧校舎から見つかり、茂樹先生が明治時代に造られた日本最古のピアノであることを突き止めて修復に出されていたものでした。自らも校歌の伴奏をしたいと待ち望んでおられたそうですが、願ひも叶わず同年八月、急病のため帰らぬ人となってしまわれたのです。その二年後、関本トキ先生が、「このピアノは神田先生が山口県の実家から持参したものであること」を記憶しておられ、池田校長先生にお話になったと伺っております。このことは、当時の北海道新聞にも大きく取り上げられていました。こうしてピアノの由来の謎は解き明かされ学校のシンボルになったことを考えると感無量であり、自分の在学・在職中の青春期がこのピアノと共にあったことは、誠に感慨深く意義深いものと思わずにはいられません。今後は茂樹先生の命日の節目に再び演奏されるとのことですので、多くの同窓生の皆さまに明治の音色に耳を傾け、当時は偲ぶよすがにしてほしいと願っております。

メモリアルピアノへ想いを寄せて「秋澄むや たましひの音 韻きをり」



ピアノの由来を説明される池田校長先生



すばらしい演奏に聴き入る来場者

支部創立三十周年総会を終えて

東京支部長 杉本幸子
S33年卒業

沈ちようげの花香る好季節となりました。

同窓会員の皆様日々ご健勝のこととおよろこび申し上げます。

東京支部は昭和六十一年六月八日東京芝生会館で開催され一〇名の出席者でうぶ声をあげて昨年六月盛会に三十周年を迎えました。

学校より池田延己校長先生、支那事務局のお世話をいただいている工藤真知子先生、西本千春先生

本部同窓会より会長平田優子様、副会長佐藤真由美様、長い間本部同窓会をお世話いただいた金子梨枝様、池田靖子様、阿部幸子様、札幌支部長岩崎典子様、札幌支部の佐藤七七子様、大勢の同窓生の出席のもと無事終えることができました。心から感謝致しております。ありがとうございます。

余興ではミニファッションショーを行い、校長先生と教え子さんの花婿、花嫁に拍手喝采、又

学園の歴史をひもとく上で学校のご好意で制服の変せんをご披露し、モデルさんは十代のうら若き乙女となり、涙あり笑いありの三十年年のお祝いの会となりましたことをご報告させていただきます。

今年も六月十一日三十一回目の同窓会が開催されます。

強い絆で結ばれている(学校、先生、同窓生)同窓会が春の陽だまりのような暖かい会になることを願って役員一同準備を進めております。

お一人でも多くの方のご出席をお待ち致しております。



工藤真知子先生のご発声で「かんぱーい」



本部旧役員とともに支部総会



新郎新婦入場



タイムスリップしました。



祝30周年 函館大妻高等学校同窓会東京支部総会 2015年6月13日 於 京王プラザホテル

四十五周年の

節目に寄せて

札幌支部長

岩崎典子

S 34年卒業

平成二十八年の新春を迎え皆様にはお健やかに過ごされたいと心からお慶び申し上げます。三月には待望の北海道新幹線開業、函館大妻高等学校札幌支部同窓会も四十五周年を迎え、二重の喜びで生涯忘れる事のできない思い出の年となりました。これらもひとえに会員の皆様のご協力のたまものと深く感謝申し上げます。

前支部長の岡田珠子様(S26年度卒)が「同じ釜の飯を食った仲間だもの」の御言葉を度々口に出しておられました。私はこの言葉が大好きです。今まで札幌支部長を続けられたのも、私のいたらないところを「同じ釜の飯を…」の仲間が助けられ、その仲間がいたからこそ頑張ってきたものと心より感謝いたします。

先日、昭和十六年卒、田中花様(旧姓成田様九十二才)にお会いする機会がありました。支部同窓会には是非出席と御本人は張り切っておられました。九十二才の今日も凛として思ひ出話をお話し下さいました。驚き

と同時に心強い限りです。開校百周年へと続くであろう母校の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

支部創立五十周年を 迎えるにあたって

日高支部長

岡田代志子

S 48年卒業

まだまだ寒い日が続いておられますが、同窓生の皆様におかれましては健やかに過ごされたいとお喜び申し上げます。

本年九月で支部創立五十周年を迎えることとなりました。創立にあたり母校本部同窓会の皆様のお力添え、そして歴代支部長のご苦勞には計り知れないものがあつたのではないのでしょうか。そのご苦勞の上に今日があるのです。そう思うと、感謝の気持ちでいっぱいになります。同窓生の皆さま、今後とも一層のご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて九月三日(土)に支部創立五十周年記念交流会を開催する運びとなりました。秋の日高路で同窓生の皆様と楽しい時間を過ごしたいと思っておりますので、お一人でも多くの方々のご参加を役員一同お待ちしております。

同窓会本部掲示板

平成28年度バザーのお知らせ

- ・手づくり品販売…平成28年7月2日(土)
同窓会総会当日：花びしホテルにて
 - ・食品販売…平成28年7月17日(日)
大妻祭当日：大妻高校にて
 - ・物品販売…同上(大妻祭にて)
- ※今年も物品販売によるバザーを開催しますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。
連絡先：大田(090-6991-9431)

手づくり会のお知らせ

同窓会では、母校創立100周年に向けて、手づくりの小物等を作り、同窓会総会当日に販売しています。1人でも多くの方のご参加をお待ちしております。手づくり作品の送付も受け付けております。

期間：2月～11月までの毎月第3土曜日
場所：母校・大妻会館 時間：午前10時～午後3時
連絡先：本間ち江(0138-32-5498)

支部総会のご案内

- 札幌支部
日時 平成28年5月21日(土)午前11時～
場所 札幌サンプラザホテル
会費5,000円
連絡先 吉田 富子(S23年卒業)
TEL 0133-73-3208
- 東京支部
日時 平成28年6月11日(土)正午12時～
場所 京王プラザホテル
会費10,000円
連絡先 杉本 幸子(S33年卒業)
TEL 03-3875-0902
- 日高支部「創立50周年記念交流会」
日時 平成28年9月3日(土)午後6時～
場所 優駿ビレッジ「アエル」
会費8,000円(写真代含む)
連絡先 岡田代志子(S48年卒業)
TEL 0146-28-1837

会報「いとぐるま」の郵送に関するお知らせ

これまでも同窓生の皆様には、多大なご協力をいただいてまいりましたが、平成23年7月の同窓会総会にて決議された通り、26年度より、**以下の方**のみに「いとぐるま」を郵送することになりました。

- ・年会費、寄付金を送金くださった方
- ・総会・親睦会に出席くださった方
- ・同窓会にご協力くださった方
- ・新入会員で母校卒業後10年以内の方
(在校中に維持費7,200円をいただいているため)

お手もとに届かない方は、インターネット上の「函館大妻高等学校」ホームページの「同窓会」のページにて「いとぐるま」を閲覧できるようにしましたので、是非ご覧ください。

母校創立百周年にむけて、今後ともご支援ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

<http://www.hakodate-otsuma.ed.jp/>

平成27年度 同窓会総会・親睦会

平成27年 7月4日(土) 於 花びしホテル



理事長先生もハイ、チーズ



こちらもハイ、ニッコリ

「親睦会でのほじける笑顔!!!」

私達、元気ですよ!!



山鼻米子さんと池田靖子さん



本間ち沓先生



丸山愛子先生



元気でやっってるかい?



輪おどりもバッチリ



相談役の教頭先生と佐々木PTA会長



ヒモを引く手に力を込めて



アラ、かんたん!!



イケメン2人でヒツヒツと...



アレレ...



ハイ、賞金ど~ぞ!!



おいしいです



う~ん、満足

拍手・拍手!!



ゲットしました!



可愛く写してネ!!

「今年もお待ちしております」

トピックス

福祉科

平成二十七年度の福祉科卒業生は、本校では初めてとなる医療的ケアに関する講義と演習を学ぶことができました。これは介護福祉士が業務として喀痰吸引などを行うことが可能になったためです。今までは看護師等が行ってきたケアを自分たちも行うこととなるため、生徒たちも真剣な面持ちで説明に耳を傾けていました。五十時間にも及ぶ講義で喀痰吸引の手順や経管栄養の手順などを学んだ後は、シミュレーターと呼ばれる人形を使つての演習。卒業時には「基本研修修了証明書」を受け取りました。現場での活躍を期待しています。



メモをとりながら説明を聞く生徒たち

家政科

平成二十八年二月二十一日(日)、函館市芸術ホールにて、第三回家政科学習報告会が行われました。今年度は家政科が新コースになって初めて三学年がそろつた記念すべき年ということもあり、この三年間を振り返る内容となりました。子ども文化コースは保育実習での様子を劇にしたり、授業で習つた合唱を披露したりと、アイデアあふれる楽しい発表。フアッション造形コースは、手作りのドレスや子ども服でのフアッションショーを開催。観客の皆さまからも盛大な拍手をいただくことができました。



子ども文化コース3年生の劇

普通科

普通科二年生三十三名が、総合的な学習の時間を使って、進路に関する体験学習並びに模擬授業を行いました。これは進路に対する意識を向上させ、情報収集の大切さを理解することで、納得のいく進路選択ができるようになるためです。十月と十一月に各自が希望する市内の大学や短期大学、専門学校を訪問し、施設見学や学生との交流を図りました。また、市内に無い分野については、十二月に札幌から講師を招き、模擬授業という形で体験することができました。生徒にとっても様々な体験をすることで、自分の進路について考える良い機会となったようです。



興味津々に話を聞く生徒たち

食物健康科

三月二十六日(土)、いよいよ新幹線が海を越えてここ函館まで開通します。それに合わせ、同日と二十七日の二日間、函館駅前特設会場で記念イベントが開かれ、食物健康科調理クラブの生徒が作る料理が販売されることになりました。この料理はそれぞれ「ビビンバ DO~NAN!」「地元HOTTと！ホッキセット」と名付けられ、はこだて和牛を始め、新幹線沿線の町の特産物である知内のニラ、北斗市のふっくりんこなどの地元食材がふんだんに使われています。先輩方が考案したレシピを後輩たちが引き継ぎ、新幹線開業の盛り上がり華を添えるべく、張り切っています。



ビビンバ DO~NAN!?



販売されるお弁当を手に笑顔の生徒

ご 案 内

平成28年度 同窓会総会・親睦会のご案内

日 時 平成28年 7月 2日 (第1土曜日)
 時 会 PM 5:00 親睦会 PM 6:00
 場 花びしホテル ☎0138-57-0131 (函館市湯川町1-16-18)
 会 費 5,500円 但し、新入会員は3,000円
 (温泉にご入浴もできます)
 申 込 平成28年 6月17日までに同封の振込用紙でお申込みくだ
 さい。宿泊申し込みは、
 同窓会副会長 佐藤 (090-3392-7831) まで
 ※カメラ等は、各自でご用意下さい。
 ※6月25日以降の取消は会費をお返しできませんのでご了承下さい。

申し込み連絡先

◎同窓会事務局
 工藤真知子(教諭)
 〒040-0002
 函館市柳町14番23号
 電話 (0138) 52-1890
 FAX (0138) 52-1892
 大妻高校内
 当番幹事 同窓会役員

「年会費」のお願い

年会費は「いとぐるま」の郵送
 や各支部助成金等に充てられ
 ます。本年度も多くの方々
 のご協力・ご送金をよろしくお
 願いいたします。

◆◆◆ 年会費集計状況 ◆◆◆
 皆様のご協力ありがとうございます

平成27年度
208,000円
 (平成27年12月31日現在)

● 編集委員

大田 幸美	平田 優子	普 通 科	食 物 健 康 科	福 祉 科	家 政 科	家 政 科
川原 ヒサ	本間 節子	松 本	坂 大 花	大 塚 志	寒 風 舞	高 田 綾
森 雪恵	佐藤 真由美	花 奈	志 音	舞 雪	ひ な	綾 女

☆ 平成二十七年 同窓会幹事 卒業 ☆

● 編集後記

また、は、連、ば、る、き、う、元、に、この、に、届、く、頃、は、ま、が、皆、さ、の、お、い、れ、見、こ、と、美、しい、風、景、を、時、間、を、背、に、桜、の、咲、き、だ、が、つ、て、観、光、先、生、を、ガ、イ、ド、に、迎、え、ま、し、ま、す、(、新、校、舎、を、見、ま、す、) 寄、稿、が、あ、り、ま、す、(、大、田、記、)

平成26年度 函館大妻高等学校同窓会収支決算書 (収入の部) (平成26年4月～平成27年3月)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 △ 減
1 維 持 費	1,027,200	1,020,000	△ 7,200
2 入 会 金	139,000	138,000	△ 1,000
3 年 会 費	300,000	240,130	△ 59,870
4 福利厚生事業収益金	100,000	82,791	△ 17,209
5 預 金 利 息	300	103	△ 197
6 雑 収 入	0	1,650	1,650
7 前 年 度 繰 越 金	397,029	397,029	0
合 計	1,963,529	1,879,703	△ 83,826

(支出の部)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 △ 減
1 総 会 費	50,000	50,000	0
2 会 議 費	10,000	5,574	△ 4,426
3 事 務 費	25,000	24,970	△ 30
4 会 報 発 刊	600,000	280,692	△ 319,308
5 活 動 費	50,000	41,833	△ 8,167
6 慶 弔 費	200,000	238,466	38,466
7 出 張 費	120,000	107,600	△ 12,400
8 支 部 助 成 金	240,000	234,080	△ 5,920
9 記 念 品	150,000	110,856	△ 39,144
10 積 立 金	400,000	400,000	0
11 予 備 費	118,529	0	△ 118,529
12 次 年 度 繰 越 金	0	385,632	385,632
合 計	1,963,529	1,879,703	△ 83,826

※会計監査実施の日程上、前年度の収支決算書を掲載

平成27年度バザー売上金	
手づくり品販売収益金(同窓会総会にて)	86,228円
食品販売収益金(大妻祭にて)	62,008円
物品販売収益金(大妻祭にて)	56,916円
ご協力ありがとうございました。	合計 205,152円

感謝をこめて



本年度、年会費や寄付金を送金して
 くださった同窓生の皆様には2枚
 組の「コースター」を同封させてい
 ただきました。
 役員一同、心を込めて手作りした
 ものですので、どうぞお受け取りく
 ださい。